



第19回 JAB 特別セミナー

平成29年7月21日 16:00～17:30

広島大学生物生産学部 C301 教室

「鳥類の配偶者選択と受精」



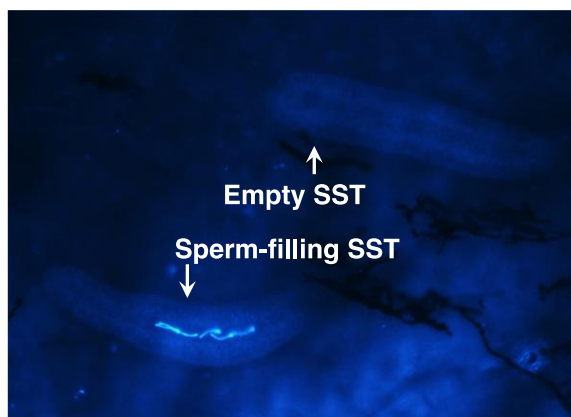
笹浪 知宏 准教授

静岡大学大学院農学領域

性的対立とは、雌雄間に生じる繁殖をめぐる利害の衝突を示す。その根底には、雌が高コストな卵を限られた数だけ生産するのに対し、雄は低コストの精子を大量生産するという事実があり、これにより、繁殖戦略上の違いが生まれ、様々な対立が生じると考えられている。これまで性的対立は主に進化生物学や動物行動学の分野で研究されてきた。しかし最近の動向では、対立の構図が動物の行動、集団、個体のレベルから、雌雄の組織、細胞、分子および遺伝子レベルでも観察されることから、受精研究者にとっても関心事になりつつある。受精の成立が、精子・卵の協調的なクロストークだけではなく、お互いに対立的な基盤にある可能性を示す最近の研究結果は、新たなメカニズムを考える上で重要であると認識する。本セミナーでは、性的対立に関連し、ウズラの雌が交尾相手としてどのような雄を選ぶのか、そしてその選択を制御するメカニズムについて紹介するとともに、射出された精子が卵子に辿り着き受精する仕組みについて最近の知見を交えて紹介したい。



雌にモテない雄（左）とモテる雄（右）



子宮腔移行部に存在する精子貯蔵管（SST）

連絡先: 都築政起

tsudzuki@hiroshima-u.ac.jp

082-424-7950 (内線7950)